



日差しがすこしずつ春ですね。皆さまお元気ですか？
2月7～9日に日本獣医内科学アカデミーが大雪の中パシフィコ横浜で行われました。動物医療発明研究会では、教育講演として3コマ頼まりました。副会長の中山正成先生が「動物病院に役立つアイデアあれこれ」を、たくさんの工夫を写真、動画入りで楽しく話をしました。会長の清水邦一は「快適！臨床のアイデア」、清水宏子は「発見！心のマネージメント」を、お土産のプリントと展示付きで行いました。毎年来て下さっている大阪の今西修大先生が、会員になって下さいました。2月22日には、日本獣医師会の学術年次大会が千葉幕張メッセでおこなわれました。



中山正成先生「獣医学術奨励賞」受賞おめでとう 小暮規夫

日本獣医師会会長名で表彰される「奨励賞」は、傘下の三学会（産業動物、小動物、公衆衛生）で選考されるため臨床家は狭き門となっていますが、本会の創設者であった岸上正義先生（大阪市）が最初の受賞者であったと思います。1999年には幸いにも私が受賞の榮に浴し、今回この会の発足以来運営に参加していただき、研究会でも大小様々なアイデア（発明）を出してくださっている中山正成先生（奈良市）が受賞されましたこと、心からお祝い申し上げます。

今回受賞の業績である「椎間板ヘルニアの外科療法」のお仕事は、われわれの間ですでに高く評価され、その実力は万人の認めるところですから、遅きに失する感はまぬかれませんが改めてお墨付きをいただいたことになり、皆さんと共に素直に喜びたいと思います。亡き富士平サビロックスの藤平茂社長が中山先生考察の「X線フィルムマーカ」の試作品を何回となく私宅にお持ちいただいて完成させたことなど懐かしく思い出しております。益々のご活躍をお祈り致します。

NEWS・1

千葉幕張メッセで行われた獣医学術年次大会で中山正成先生が、日本獣医師会の学術功労賞を授与されました。この賞は、大学の先生方が多く、臨床獣医師はなかなかもらえないのですが、過去、故岸上正義先生、小暮規夫先生と発明研究会から3人目です。動物医療発明研究会としては、ちょっと自慢のできることで嬉しいです。

会員の中から、いつかまた次の学術功労賞の受賞が出たらすばらしい限りです。日々、コツコツ楽しい工夫や発見で、獣医界に小さな貢献をめざしましょう。

日本獣医師会獣医学術賞 発表と授与
（左）日本畜産工業株式会社、（右）製薬株式会社、（左）山崎株式会社



会員の皆様へお礼 中山正成

動物医療発明研究会からお祝いを頂きました。前から欲しかった工作用のドリルビットを購入させて頂きました。ありがとうございます。この度の「獣医学術功労賞」授賞は、感激とともに身の引き締まる思いです。獣医学は、まだまだ極めなくてはならないと日々感じていますので、今後も精進いたす覚悟です。この賞は昭和62年（1987）から始まっています。第一回の授賞者は、大阪の故岸上正義先生でした。平成10年（1998）東京の小暮規夫先生が授賞されています。そして私と…。動物医療発明研究会から3名も授賞するとは、快挙ですね。今後、会員の皆様と共に獣医学の発展に寄与していきたいと思っております。

2014年3月1日 朝日新聞

脊椎疾患の研究 治療法の開発



奈良市南陵町の中山獣医科病院院長の中山正成さん(65)が、日本獣医師会の獣医学術功労賞を受賞した。犬や猫の脊椎疾患の研究、治療法の開発と普及に尽くしたことが評価された。県内で初めての受賞だ。千葉市の幕張メッセで開かれた「獣医学術学術年次大会」で授賞式があった。

街の獣医師 中山さん 「学術功労賞」に

中山さんは、奈良市出身。北里大学を卒業後の1974(昭和49)年、地元北里に帰って開設した。日々診察する中で、犬や猫に椎間板ヘルニアが自立した状態に驚いた。とくに犬は、ある日突然、腰が抜けた状態になり、歩けなくなる。飼い主があわてて連れてくるが、当時はまだ、検査技術がなく、効果的な手術や治療方法も確立していなかった。中山さんは、まず検査技

犬猫の健康見守る

術の開発から始めた。「診断、手術するには正確な検査が欠かせない。試行錯誤だった」と40年ほど前を振り返る。エックス線撮影装置を使い背中と横から加え、斜めから角度を変えてエックス線をあてることで、立体的に患部の状況がわかる方法を編み出した。今ならCT(コンピュータ断層撮影)やMRI(磁気共鳴断層撮影)があり、相当、正確な検査ができる。しかし、当時としては画期的な試みだった。立体的な検査が可能な手技、的確な手術が可能になった。

中山さんは研究成果を論文で発表、国内各地で講演し、勉強会を開くなど普及にも努めた。中国や韓国、台湾などからも招かれて指導してきた。日常の仕事しながらだったので、治療法を確立するのに10年ほどかかった。正確な手術が必要なくなり、犬や猫の負担はかなり軽くなったと話す。こうした実績から北里大学の獣医学部、大阪府立大学で客員教授として後進の指導にもあたっていた。

日本獣医師会事務局によると、学術功労賞は大学や専門機関などの研究者が



受賞するケースが多く、開業医の受賞は珍しいという。中山さんは「長年やってきたことが評価され、うれい。これからも犬や猫など動物たちの健康を守っていきたく」と語っている。(菅田洋)

「犬や猫は家族と同じ。健康で過ごせるように頑張って……」と話す中山正成さん-奈良市南陵町

内科アカデミーの中の動物医療発明研究会の教育講演に寄せられた感想文の一部を以下ご紹介いたします。



☆わかりやすく、役立つ資料のプレゼントもあって楽しい時間でした。

☆先生の前向きな雰囲気、こちらも前向きな気持ちになりました。現在は大学院で勉強していますが、将来は開業予定なので大変参考になりました。

☆先生方の細やかなケアに頭が下がる思いです。

☆ちょっとした工夫とおっしゃっていましたが、そのちょっとしたことが、大きな成果を生むのだらうと思いました。自分でもできることを探してみます。

☆今、獣医学科の5年生です。動画やイラストが沢山あって先生方が楽しそうにお仕事をされていて、こちらまでうれしいような、ほんわかした気持ちになりました。

☆病院での配布物や言葉のかけ方など、とても勉強になりました。ちょっとしたやさしさを見つけることが大事なんですね。

☆少しでも貢献できる年になれると良いなあと思っていますが、なかなか心配りが上手に出来ませんが、頑張ります。

☆先生方のセミナーは、応対セミナーの講師の方々と違い同じ動物病院の先生なので視点が同じで、大変心強く参考になります。

☆うさぎのエンセファリトゾーン症のスクリーニングを提案することは、学術的にも経営的にも素晴らしいと思う。

☆地震や不況のせいにしないで、マイクロチップの普及やフードの備蓄を飼い主にすすめることにより、経営の安定化を考える。

☆犬、猫、エキゾチックの飼い主さんの特長をまとめて欲しい。

☆将来のマーケットの縮小を考えると寝られなくなりそうですが、来院数が少なくなったらチェックポイントを一つ一つ丁寧にゆっくり見て単価を上げたい。

☆スタッフとのコミュニケーション、モチベーションアップになかなか時間がとれないのが悩みですが、諦めないで頑張ろうと思いました。

中山正成先生の講演内容は、次号のお楽しみで。今回は清水 邦一と清水 宏子です。

快適！臨床のアイデア

横浜市・清水動物病院 清水 邦一



日常の臨床で、常識や当たり前のことに少し視点を変えたり工夫を加えたりすることで、能率的に物事を進めることができます。思わぬ発見が見つかることもあります。ちょっと立ち止まって、快適な仕事を見つけてみましょう。

【細針はすばらしい：大型犬も26G採血】

溶血を防ぐために、陰圧をかけすぎないということで、太めの注射針を選択することが多いのですが、血液検査機器の進歩で、必要となる血液量は少なくなりました。そこで細い注射針でも、いくつかのことに気を付ければ、良好な採血ができ、利点が増えます。是非試してみてください。

■ 気をつけるポイント

- ① ヘパリン処理シリンジの作成：1mLシリンジにヘパリン注（1000単位/mL）0.01mLを筒先の中に入れて乾燥させておきます。
- ② 刃先が何にも触れていない注射針を使います。
- ③ 血管にうまく入らなかった時はすぐ新しい針に替えます。刃の切れが落ちていたり、微量の血液が針の中で凝固しかかっていたりハブ内が汚れていたりします。
- ④ 採血シリンジは0.2mLほどの空気を吸っておくことで、過度の陰圧を防ぐショックアブソーバーになります。静脈圧だけでハブ内に血液が入り入りやすくなって、針先が血管内に入った信号になります。皮膚に刺す時は皮膚に対して、20-30°くらいの角度をつけて刺入することにより、痛みを最小にします。血管内に入ったら血管に沿った向きに変えてさらに進めます。

■ 利点

- ① 注射針が細い分、痛みに当たる確率が減少します。
- ② 刃先が短い分血管内を突き抜けにくくなります。
- ③ 注射針を抜いた後、出血しにくくなります。

【極細注射針で細針バイオブシー（FNB）】

注射針のみを使用する細胞診は、細胞の採取率は高く、動物への負担やリスクもほとんどなく、手技も簡単で、いつでもできる検査です。しこりがあれば小さくてもすぐ検査をして、診断への目安を付けます。普通の大きさのしこりであれば、25G×5/8インチの注射針を使用します。しこりが小さいときや、ハムスターなど小型動物では、26G×1/2または27G×1/2の注射針を選択します。

■ 気をつけるポイント

- ① 採取量は少ないので、乾燥しやすいため、ガラスに吹き付けるための2.5mLシリンジは、空気を吸ってスタンバイしておきます。
- ② カバーガラス（22mm）の2枚を合わせてスライドさせる方法で塗抹します。採取後、速やかにできるように、これもスタンバイさせておきます。

■ 利点

- ① 炎症性の組織以外は、動物がほとんど感じないうちに終わります。

- ② 針を抜いた後、出血しても微量です。術者が塗抹作業に入れるように、助手が脱脂綿による圧迫をおこないます。
- ③ 細胞の拡散は起きにくいとされていますが、その率はさらに低下します。

【目盛りをつけて快適に】

生体モニターの体温センサー：食道内に体温センサーを適切な深さに入れる時、10cm、20cm、30cmのところに目盛りを付けます。



歯根エレベーター：歯根の剥離の深さが分かるように10mm、15mmのところに目盛りを掘ります。

シリンジの補助目盛：1mLシリンジに、0.1mL単位で目盛りをつけたチューブ状のアダプターをはめます。1.4mLくらいのシリンジになります。

【超音波スケーラー用W型万能チップ】

W型をした自家製チップを使用して20年、これ1本でグレイシーキュレット以上に作業性アップし、歯根の露出した多根歯にも威力を発揮します。



【ビベットチップの活用法】

テーバー形状を多用途に利用する工夫です。

【簡単な膿瘍切開法（ウサギなど）】

18G注射針を用いて、十字に切開します。

【ウサギの臼歯の応急処置】

無麻酔で行う臼歯不成咬合処置をご紹介します。ルミビュー（ウエルチアリン）、改造したロンジュール（友愛メディカル）、ダイヤモンド・ヤスリ（津川洋行）を利用します。

【ウサギの眼科を身近に】

ウサギの診察で、目の病気は多く、犬や猫と同様に聴診器のように検眼鏡を使用しています。眼瞼の機能異常による流涙症、角膜の異常、水晶異常によく遭遇します。フルオル染色では、試験紙1/4カット法が適量で快適です。

【消毒液のディスペンサーの1回量調節】

ポンプのレバー部分にカットしたチューブをはめて、一定量出るように調節します。

【バコマル液の多用途利用法】

スプレーに入れて、診察台、汚れた被毛、ほこり吸着、ペーパータオル、便器の汚れ防止、害虫の捕虫、濃度液による洗剤変わり、しみ抜き、モップでの床の消毒。

【よかった探しのまるまる会議】

ほめることは動物も人も大切です。ほめることが苦手な人も、良いことを見つけを毎日習慣化するようにします。感謝の気持ちを込めて「ありがとう」「助かるよ」などを伝えて、スキルの向上を目指しましょう。

発見！心のマネージメント

横浜市・清水動物病院 清水 宏子



小さな動物病院を始めて36年。同じ頃に開業した友達は、セミナーや学会でだんだん会わなくなったり後継者にバトンタッチしたり病院を閉めたり、し始めています。開業した頃のモチベーションを維持しながら、老後も視野に入れての経営や上手な心の管理もできたら、と願うこの頃です。若い先生方や動物看護師さんにも役立つアイデアもお伝えできれば、と思います。

■ 経営理念

皆さんの病院には、経営理念はありますか？世の中の多くの会社は経営理念を持って仕事をしています。動物病院でも人の病院でも、たとえ経営理念を掲げていなくても立派なポリシーが自然に出ている所もありますし、逆にうたっている割には首をかしげられることもあります。

さて清水動物病院（飼い主さんはシミドと呼ぶ）の現在の経営理念は、誰にでもわかりやすいものになっています。飼い主さんからは、「シミドに来てほっとした」、薬・フード・器具・機械などの会社の人からは「シミドと取引して一緒に企画・仕事ができて良かった」、スタッフからは「シミドに勤めて楽しい」、地域の人からは「シミドができて元気な町になった」、社会からは「シミドのおかげで動物の有益性が理解できた」、世界からは「シミドの小さな発信が、平和産業、健康産業の一步になった」と感じてもらえるような…

こんな経営理念で、毎日出会う一人ひとりに誠実に向き合っていて行けたら、と思います。夢やビジョンを持つことが、大切なものを築きます。

■ SWOT分析

会社にいると当り前のSWOT分析です。最近になって、異業種交流会の友達に教わりました。SWOT分析とは、(Strengths<強み・得意>) (Weaknesses<弱み・苦手>) (Opportunities<機会・チャンス>) (Threats<脅威・マイナス要因>) を表にして情報をつかみ、全体の究明に役立てる方法です。動物病院、自分、家族のSWOT分析を書いてみましょう。内科アカデミーの会場にいらした方には、書き込める表と我が家のSWOT分析をご紹介します。

弱みを認めると強くなれます。若い時は、苦手を克服することに力を注ぎ、歳を重ねたら得意を伸ばす、というのもよいかもしれませんが、ちょっと立ち止まってSWOT分析を考えると、まだまだできることはいっぱいあります。

■ 経営、プチ改革

最小の資源で最大の効果を上げよう、というのがマネージメントの基本ですが、なかなかそうはいかないのが私達の業界です。

「〇〇外来」という項目を作るだけでも、なんだか病院が一回り大きくなった気分です。例えば、肥満外来、歯科外来、心臓外来、血液外来、介護緩和ケア外来、泌尿器外来、寄生虫外来、眼科外来、パピー外来、糞外来、……。ミニポスターやニュースペーパーも

「肥満外来からのお知らせ」とすると仕事はいくらでも見つかります。来院数が減っても、ていねいに診たりすることで一人の来院数が増えたり、客単価は上がったりします。

■ 経営の落とし穴

税理士さんの友達によると、どの業界でもそうですが、売上額ばかりにとらわれて、収入を「給料+経費」とのバランスを吟味しないと、実質利益が減っていることがよくあるそうです。忙しいばかりで身入りが少なくなって、それを不況や世の中のせいにして、給料や人件費を削ったりすると、皆のモチベーションが下がるそうです。利益率の高いもの（診察料・技術料など）と低いもの（フード・グッズなど）があります。同じ目的の、例えばフードや薬でも、利益率が違うことがあります。前年比を総合的にチェックしてみることをお勧めします。

■ 老後対策

老後の心配があると安心して仕事ができません。かといって日々の仕事にかまけて何の準備もしないでいると、あっという間に年金世代になります。年金の下調べを忘れずにチェックし、退職金は自分で積み立てし、動産を含めた財産のリストは作っておき、連絡先なども含めて家族に伝えておくことを勧めます。夢の棚卸しをして断捨離も心がけることは、老前から始めましょう。

■ 社会貢献

白衣を脱いででもできることはいっぱいあります。盲導犬、介護犬、聴導犬、学校飼育動物、里親探し、野生動物保護活動、動物にかかわる後輩の育成など、自分のできる形でライセンスを世の中にお返しできると、世のため、人のため、動物のためが、いつの間にか自分のやりがいになり、心の安定にもつながります。

■ マーケティング

商品やサービス・技術を、市場に流すための企業の活動がマーケティングですが、具体的にどんな対策を企てたらよいか、という質問をよく受けます。

私達の病院ではリレーションシップ（誕生日、子どもの名前、故郷、趣味などをカルテに記入して、相手に興味あることをさり気なく伝える）・フェイスブック（なるべくポリシーを伝える機会を増やして

仲良くなる）・セグメンテーション（ポリシーに合う気持ち持者がVIPな人を絞りこんで大切に利用します。飼い主さんをより深く理解することになり、お互いのわがままを楽しみに変えて、永くお付き合いできる関係に導くことができます。そしてとことんニーズにこたえます。

■ まとめ

経営とは、利益の追求と思いがちですが、実は「力を尽くして営むこと」など、その姿勢が広辞苑に出ています。経営の神様、ピーター・F・ドラッカーは「経営の最大の責任は、自らの組織の生存を確実にすること、組織の構造を健全かつ堅固にし、打撃に耐えられるようにすること。そして急激な変化に適応し機会をとらえること」と述べています。どんな時代になっても本物は残ると信じて、天職をいろんな形で永続できるよう努力したいですね。

追
い
風
に
乗
っ
た
り
向
か
い
風
に
挑
ん
だ
り
人
生
を
楽
し
も
う



NEWS・3

3月2日には、中野サンプラザで日本女性獣医師会の講演で動物医療発明研究会の先生方も、日本女性獣医師会の会員価格（半額）でセミナーを受けられるシステムにして、清水夫妻が「快適な動物診療～技術のアイデアと心のマネージメント～の講演をしました。

こんな形で、会員を少しずつ増やせたらいいなあと思っていますので皆さまもアイデアや企画や提案を事務局までお寄せいただけると幸いです。（常時、受け付け）



講演会用テキスト42ページ

新入 会員

長谷川篤彦先生（東京大学名誉教授）／今西 修大先生（春日丘動物病院）茨木市／浅井 洋子先生（宇都宮ペットクリニック）宇都宮市／ソルブ株式会社 横浜市／田中章弘先生（田中動物病院）東京都品川区／兵藤哲夫先生（兵藤動物病院）横浜市／森健三先生（森動物病院）東京都港区／岸上義弘先生（岸上獣医科病院）大阪市

♥♥♥ 次年度の会費納入 ♥♥♥
4月30日までにお願いいたします



動物医療発明研究会のホームページで登録もできます。会員の病院・施設名、郵便番号、住所、TEL、FAX、ホームページURLを掲載します。ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP掲載希望」と明記して、データをメールにて下記ホームページへお送りください。

運営受託：株式会社アイ・スペシャル
hp@ispecial.co.jp



事務局ではお役立ちのアイデアやエピソードを随時募集しています。メール、FAX、郵便でも受け付けていますので、お気軽にお寄せください。

SAMI NEWS 36号 発行日：2014年3月31日

発行所：動物医療発明研究会事務局

発行人：会長 清水 邦一／編集人 伊藤 隆

事務局：230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3 清水動物病院内

メール：sah@vet.ne.jp

FAX：045-583-3594（電話：045-583-3738）